



日勤教育に対する徹底した継続した審理と詳細な検討を求める署名 大阪高裁に 44,385 筆提出！

JR西労は、これまでJR福知山線脱線事故の原因と指摘され、懲罰的管理の象徴である「日勤教育」撤廃に向けた裁判を闘っています。昨年7月、一部日勤教育の不当性を認める判決が大阪地裁で出されたものの、多くが認められなかったために控訴し、大阪高裁で闘っています。

その間もJR西日本の企業体質は変わることなく、懲罰的な管理方法が続くため、JR西労はJR総連の仲間にも「日勤教育に対する徹底した継続した審理と詳細な検討を求める署名」を呼びかけ、取り組んできました。

7月25日、JR西労田村豊委員長をを含む3名の代表者は、大阪高裁に対し、全国から集まった署名44,385筆を提出しました。

JR西日本に限らず、高圧的な職場管理がJR各社で行われています。安全で働きやすい職場をつくるために共に闘いましょう！



会社の懲罰的な社員管理とたたかうJR西労の仲間たち



大阪高裁へ署名を提出！！